

# ゆっくり じっくり 明德UD

## ❖ 明德 UD とは ❖

本校で平成30年度より「通級による指導」が行われることに併せて、学校全体で取り組めることの一つとして、「授業のユニバーサルデザイン化」に着目してきました。

授業づくりのポイントとして、「すでに取り組んでいること、できていること」を教員間で共有し、この視点を意識的に取り入れアイデアを交換しながら、授業のユニバーサルデザイン化のきっかけにするというコンセプトで、「明德 UD」という指針を作成しました。

(次の5つの項目は本校職員(H30)へのアンケート調査を基にまとめたものです。)

※このページは UD フォントを使っています。

### ◆ 明德 UD ◆

- 1 授業の目標が具体的に示されている
- 2 板書やプリントの文字の大きさ・行間・色・書くスペースに配慮がある
- 3 必要に応じて視覚補助教材が提示される
- 4 指示は短く具体的で 声の大きさや話す速さに配慮がある
- 5 生徒の発言の前に考える時間が十分にとられている

### ◇ 授業 UD 化のめざすところ ◇

どんな生徒にとっても「あると便利で役に立つ支援」があり

生徒と教員が互いに「わかる・できる」を共有できる授業の仕組みをつくる

# ❖ 学校で できること 学校が できること ❖ — 見えるところ から 見えないところ へ —

## ◇ 「見えるところ」のUD化 ◇ 掲示方法の統一 ・ 情報の視覚化

「場の構造化」という視点から 授業教室の掲示方法を統一し  
どの教室でも 同じ方法で 情報確認できる環境をつくる

## ◇ 「見えないところ」のUD化 ◇ 授業づくりの視点を広げる

学習者が「わかる・できる」までのアプローチがそれぞれ違うことに着目し  
だれにとってもメリットのある最大公約数的な方法を探る

# ❖ だれもが参加できること 参加しやすいこと ❖

学習者が自ら試しながら 自分にとってわかりやすい方法を見つけられる  
そして 得意を伸ばし 苦手になんか向き合っていく  
そんな環境をつくっていきたいと考えています

